

Yahoo!カーナビ、首都高速道路と連携し、「ETC専用料金所」のうち誤進入が多い6カ所で注意喚起する機能を提供開始

～ 「霞が関（内・外）」、「代官町」など6カ所を含むルート
のナビ開始時や、料金所の手前で音声による注意喚起を行い、
ETC非搭載車の誤進入を防止 ～

<https://carnavi.yahoo.co.jp/promo/>

ヤフー株式会社（以下、Yahoo! JAPAN）が提供するカーナビアプリ「Yahoo!カーナビ」（Android版、iOS版）は本日、首都高速道路株式会社（以下、首都高速道路）と連携し、「ETC専用料金所」のうち誤進入が多い6カ所で注意喚起する機能（以下、本機能）を提供開始しました。

「霞が関（内・外）」、「代官町」、「木場」、「浦和南」、「新山下（上）」、「磯子」の6カ所の「ETC専用料金所」（図1）を含むルートでのナビ開始時や、料金所の手前で音声による注意喚起を行い、ETC非搭載車の誤進入を防止することで、安全・安心な運転をサポートします。なお本機能は、2023年夏までに「Yahoo! MAP」（Android版、iOS版）でも提供開始予定です。



国土交通省の資料（※1）によると、ETCの利用率は年々増加しており、現在9割以上の自動車を利用しています。こうした背景を受け、国土交通省および高速道路会社6社は、高速道路料金所のキャッシュレス化、タッチレス化を推進する「ETC専用化」の概成を目指すとしています（※2）。

一方で、日本の自動車保有車両数は約8,000万台（※3）とされていることから、9割以上の利用率があるとはいえ、ETCを搭載していないドライバーも多くいることがうかがえます。このような状況の中、「Yahoo!カーナビ」では2022年に、ETC専用料金所を回避するルートも選択

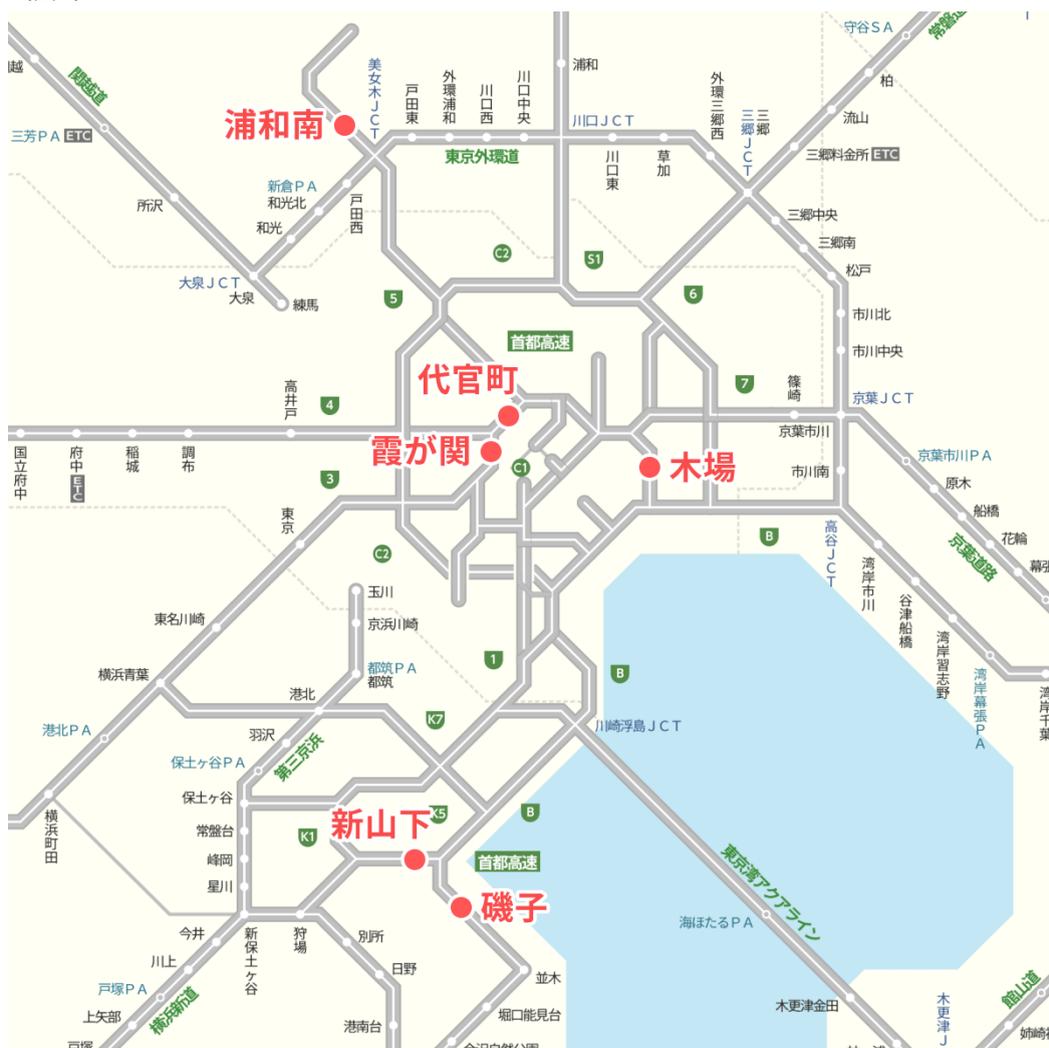
可能にする（※4）ことで、ETC非搭載車の誤進入の防止に努めるとともに、あらゆるユーザーが使いやすいサービスの提供を心がけています。

首都高速道路によると、「ETC専用化」の運用開始後、ETCカードを付帯していない車の誤進入や後退が見られており、さまざまな注意喚起施策を行っています。また、同社が運営する「ETC専用料金所」のうち、当該6カ所の「ETC専用料金所」は、誤進入による後退が他の料金所と比較して多く見られています（図2）。

Yahoo! JAPANとしても、ユーザーのより安全安心な運転をサポートしたいという思いから、首都高速道路と連携して本機能を提供します。

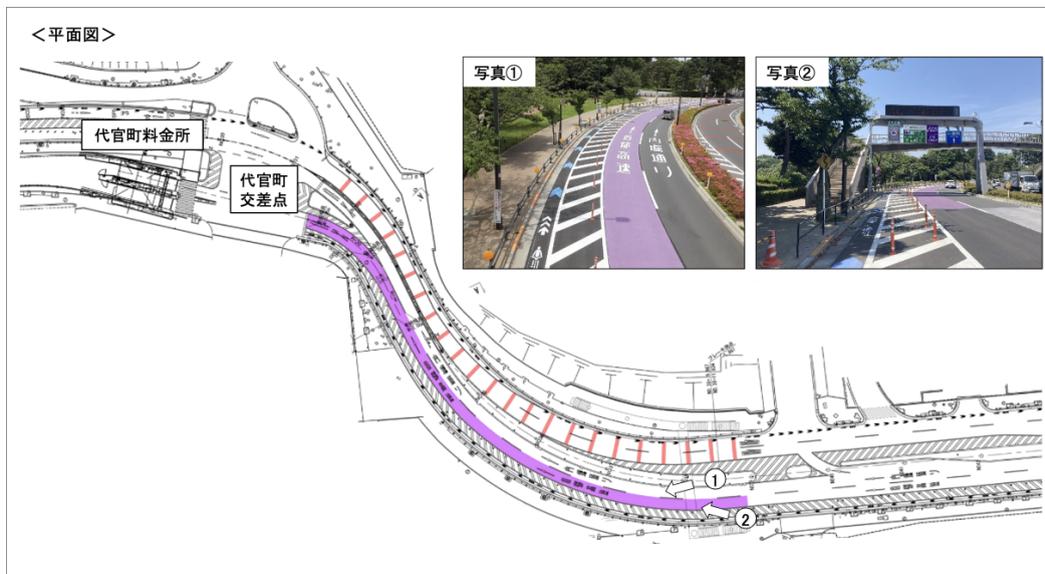
本日より、「Yahoo!カーナビ」で該当の6カ所のETC専用料金所を含むルートを検索すると、ナビゲーションの開始時と、料金所の手前で音声による注意喚起を行います（※5）。本機能によりユーザーは、自身が通過するルート上に当該料金所があることを事前に把握できるので、ETCの差し忘れや誤進入の防止に役立ちます。

（図1）



（図2）

「代官町」入り口の例。料金所に向かう車線に紫色で着色しているものの誤進入が見受けられることから、「Yahoo!カーナビ」では着色箇所より前のタイミングで注意喚起を行います。（画像提供：首都高速道路）



「情報技術のチカラで、日本をもっと便利に。」をミッションに掲げるYahoo! JAPANが提供する「Yahoo!カーナビ」は、今後もユーザーの安全安心なドライブをサポートできるよう、さらなるサービス強化・改善に取り組んでいきます。

※1：国土交通省「ETCの利用状況」（外部サイト）

<https://www.mlit.go.jp/road/yuryo/etc/riyou/index.html>

※2：国土交通省「ETC専用化等による料金所のキャッシュレス化・タッチレス化について」（外部サイト）

<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001378536.pdf>

※3：一般財団法人自動車検査登録情報協会「令和5年1月末の自動車保有車両数月報」（外部サイト）

<https://www.airia.or.jp/news/r5c6pv00000130v9.html>

※4：Yahoo!カーナビ、首都高速道路の一部料金所で開始された「ETC専用化」に対応し、ETC専用料金所を回避するルートが選択可能に（2022年3月1日プレスリリース）

<https://about.yahoo.co.jp/pr/release/2022/03/01b/>

※5：注意喚起を行う地点が右左折など他の発話タイミングと被った際には発話されないケースもあります。